

事務事業名	地域子育て支援センター事業費										担当課	部課名	子ども青少年部子育て企画課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	01	細目	002	説明	01	課等の長	川口 浩平	電話	3812

1. 事業概要

事業開始年度	平成 13 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域の中で安心して子育てが出来る支援体制の充実を図るため、子育てアドバイザーを配置し、子育てひろばの開催や子育て支援に関する講習など、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点として、子育て支援センターの運営を行う。						
対象	1. 個人	未就学児とその親	約	65,000	人		
根拠法令等	法律等	児童福祉法, 子ども・子育て支援法					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 子育ての仲間づくりのための「子育てひろば」の開催 延べ68,613人 子育ての不安, 悩みについての「個別相談」の実施 個別相談件数:6,559件 子育て支援に関する情報の収集・提供及び講習(保健師・助産師・栄養士による講座等)実施 情報提供数:1,160件 						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 社会福祉法人青い鳥) (委託等内容: 子育てアドバイザーによる「藤沢子育て支援センター」の運営) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金: タカギフーズ(株)) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 62,421 千円	事業費節別内訳		主な事業内容		
		費目	支出済額 (千円)			
		報酬	40,483 千円		子育てアドバイザー・助産師・栄養士の報酬	
		委託料	9,276 千円		藤沢子育て支援センター運営, 辻堂子育て支援センター警備	
		使用料及び賃借料	7,976 千円		辻堂子育て支援センター建物, AED, FAXコピー機, 業務用端末賃借	
財源内訳	R元年度 支出済額 62,421 千円	事業費節別財源内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)		
		費目	支出済額 (千円)			
		分担金・負担金			令和元年度	
		使用料・手数料			正規職員等	4.80
		国庫支出金	11,604 千円		再任用短時・任期付短時職員	0.00
県支出金	11,604 千円	非常勤職員	22.00			
その他 ()		合計	26.80			
一般財源	39,213 千円	※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員				

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	108,298	95,772	98,018	105,345			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	99,912	96,727	98,428	105,312			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	22,775	21,714	21,327	21,938			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	77,137	75,013	77,101	83,374			
	①職員給与合計(常勤)	34,584	35,032	34,835	40,696			
	②報酬合計(非常勤)	40,484	38,280	40,483	40,483			
	③退職金相当額	2,069	1,701	1,783	2,195			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	8,386	-955	-410	33			
	①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	8,386	-955	-410	33				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	254.76	425.105	224.03	427.501	228.31	429.317	243.26	433.060

成果実績	指標名	年間延べ利用者数	目標	67,000	単位	人	65,222	単位	人	66,853	単位	人	67,000	単位	人
			実績	77,539	単位	人	74,956	単位	人	83,014	単位	人	68,613	単位	人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由														
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			1,396.69	1,277.71	1,180.74	1,535.35									

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	①多様化する子育て家庭のニーズへの対応，特に支援が必要なケースや潜在的に支援を必要としている家庭へのアウトリーチなどの体制づくりの必要性 ②妊娠期からの切れ目ない支援を行うための地域子育て支援ネットワークの具体的な運用
(2) (1)解決のための今後の取組	①各関連機関，拠点としての子育て支援センターの役割を明確化し，個々のニーズに合った子育て支援サービスを提供する。 ②出産前後の育児不安・負担の軽減が図れるよう，関係機関との連携を強化し，アウトリーチ型の支援体制を検討。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	多様なニーズに合わせた子育て家庭の交流の場の提供や情報提供，講習等を実施し，地域の中で安心して子育てができる支援体制の強化が図られた。また，関係機関と連携し妊娠前から子育て期まで支援がにつながる情報提供や相談を実施し，妊娠期からの切れ目のない支援が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持 子育て家庭が抱える問題は多様化，複雑化しており，それらの問題に一元的に対応するために関係各課とのよりスムーズな連携体制を作ることが必要。また，孤立家庭やひとり親家庭への支援が課題となっており，地域の子育て家庭の状況把握や地域と子育て家庭をつなぐ役割が重要と考える。

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
12	センター内の防災に関すること	無	無	2	
13	センター内の防犯に関すること	無	無	2	
14	巡回子育てひろばに関すること	無	無	1	3
15	非常勤職員に関すること	無	無	1	
16	施設管理に関すること（開所時間前）	無	無	2	
17	施設管理に関すること（閉所時）	無	無	2	
18	ひろばの運営に関すること（1）	無	無	2	3
19	ひろばの運営に関すること（2）	無	無	2	
20	関係機関との連携に関すること	無	無	1	
21	子育て相談に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	宮原 伸一	確認日	2020/8/24
----	---------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	つどいの広場事業費										担当課	部課名	子ども青少年部子育て企画課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	01	細目	002	説明	02	課等の長	川口 浩平	電話	3812

1. 事業概要

事業開始年度	平成 19 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	親子同士の交流や子育てアドバイザーによる相談・援助・情報提供等を行う「つどいの広場」を運営するとともに、地域において「つどいの広場」に準ずる活動を実施している団体等に対して、「藤沢版つどいの広場」として助成し、その活動を支援する。						
対象	1. 個人	未就学児とその親	約	65,000	人		
根拠法令等	法律等	児童福祉法 子ども・子育て支援法					
事業実施内容	・鶴沼・善行・藤が岡・中里つどいの広場の実施 684日開設, 延べ利用者16,999人, 相談件数1,588件, 情報提供2,679人 ・藤沢版つどいの広場事業 市内7か所で実施。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 社会福祉法人 青い鳥, NPO法人あいの会など4団体) (委託等内容 : 「つどいの広場」の運営) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : かたせ・ここに広場など5団体) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 18,169 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	35 千円	消耗品
		役務費	46 千円	鶴沼つどいの広場電信電話料・傷害保険料
		委託料	17,824 千円	つどいの広場事業委託料
		負担金補助及び交付金	264 千円	地域子育て支援活動推進助成事業補助金
財源内訳	R元年度 支出済額 18,169 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	7,363 千円	
		県支出金	7,363 千円	
		その他 ()		
		一般財源	3,443 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.70
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.70

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	25,157	24,241	24,620	24,978			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	24,158	24,417	24,695	24,972			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	17,406	17,651	17,950	18,169			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	6,752	6,766	6,745	6,803			
	①職員給与合計(常勤)	6,371	6,453	6,417	6,399			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	381	313	328	404			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	999	-176	-75	6			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	999	-176	-75	6			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	59.18	425,105	56.70	427,501	57.35	429,317	57.68	433,060

成果実績	指標名	来場者数	目標	19,000	単位	20,000	単位	20,000	単位	20,000	単位
			実績	20,963	単位	18,091	単位	20,444	単位	16,999	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			1,200.07	1,339.95	1,204.27	1,469.38					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	多様化する子育て家庭の個々のニーズを把握し，より地域に根ざした子育て支援体制の充実を図る必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	子育て支援センターと連携しながら，子育て相談や地域の実情に合わせた子育てに関する講習会を実施する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地域の中で居場所として親同士の交流を図り，どんなことでも話せる雰囲気の中で利用者が安心できる場を提供し，子育て支援に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	親子の居場所づくりとしてそれぞれの地域の特性をいかした子育て支援事業を充実させる。実施状況の情報共有から方向性の確認を行い，地域で多くの人々に支えられている子育てを実感し，安心感を得られる支援体制を進める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
22	つどいの広場事業に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	宮原 伸一	確認日	2020/8/24
----	---------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	子育てふれあいコーナー事業費										担当課	部課名	子ども青少年部子育て企画課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	01	細目	002	説明	03	課等の長	川口 浩平	電話	3812

1. 事業概要

事業開始年度	平成 13 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域子どもの家や児童館を活用し、保育士や子育てボランティア等を配置して「子育てふれあいコーナーあいあい・きらきらぼし」事業を実施する。						
対象	1. 個人	未就学児とその親	約	65,000	人		
根拠法令等							
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子どもの家及び児童館の計22か所で、保育士と子育てボランティアが協力して情報提供や育児相談、子育て中の親・子同士の交流ができる場の設置 ・市内3か所で子育てボランティアによる子育て中の親・子同士の交流の場の設置 ・子育てボランティアの育成 						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 257 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報酬費	192 千円	あいあい・きらきらぼしボランティア報奨金, ボランティア養成講座謝礼
		需用費	38 千円	玩具・絵本等
		役務費	27 千円	ボランティア保険
財源内訳	R元年度 支出済額 257 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	257 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.70
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.70

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	8,447	6,928	6,917	7,066			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	7,108	7,104	6,992	7,060			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	356	338	247	257			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	6,752	6,766	6,745	6,803			
	①職員給与合計(常勤)	6,371	6,453	6,417	6,399			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	381	313	328	404			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,339	-176	-75	6			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,339	-176	-75	6			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	19.87	425,105	16.21	427,501	16.11	429,317	16.32	433,060

成果実績	指標名	利用者延べ人数	目標	3,300	単位	3,500	単位	3,500	単位	3,500	単位
			実績	4,395	単位	3,669	単位	3,479	単位	2,993	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		1,921.96		1,888.25		1,988.22		2,360.84			

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	子育て家庭がさらに地域とつながる情報提供 ボランティアの人数の減少
(2) (1)解決のための今後の取組	事業を継続し，子育て家庭の親子の交流の場を提供するとともに，ボランティア養成講座や情報交換会などを通して，子育て家庭の状況を把握し利用者に寄り添った情報提供をしていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・あいあい・さらさらぼしについては，年間で合計延べ3,479人の利用があり，子育て中の親・子同士の交流の場を提供することができている。 ・ボランティア養成講座や情報交換会などを通して，ボランティアの育成も行った。 	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	身近な場所にある地域子どもの家・児童館を活用し，親子同士や子育てボランティアとの相互交流や市内保育所保育士による育児相談を実施。子育てに対する不安や悩みの軽減や親子の交流の促進を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
23	子育てふれあいコーナーに関すること	無	無	1	
24	ボランティア情報交換会に関すること	無	無	1	
25	子育てボランティアシフト調整について	無	無	1	
26	ボランティアの養成に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	宮原 伸一	確認日	2020/8/24
----	---------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	子育て関係事務費(繰越分)										担当課	部課名	子ども青少年部子育て企画課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	01	細目	002	説明	04	課等の長	川口 浩平	電話	3811

1. 事業概要

事業開始年度	平成 30 年度	終了(予定)年度	令和 元 年度	事業の性質	法定受託事務		
事業概要	第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、子育て支援に関する利用状況や潜在的需要、今後の利用意向等の状況把握を目的として、利用希望把握調査を実施した。平成30年度中の調査を予定していたが、平成31年10月に幼児教育無償化が行われ、ニーズに大きく影響を与えることが予測されたことから、無償化の動向を注視するため、調査を後ろ倒し繰越とした。なお繰越分の本事業は、調査委託料のみである。						
対象	1. 個人	主に未就学児とその親			約	65,000	人
根拠法令等	法律等	子ども・子育て支援法					
事業実施内容	【実施期間】 令和元年5月8日～27日 【対象者・調査方法】 下記を無作為抽出のうえ、調査票を郵送配布・郵送回収 (1) 就学前児童(0～4歳児)のいる世帯 6,000世帯 (2) 5歳児のいる世帯及び小学校1～5年生までの児童のいる世帯 6,000世帯 本調査の結果や国の基本指針に即して算出した量の見込み等をふまえ、その確保方策と実施時期を示した平成32年度から5年間の第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画を策定した。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社サーベイリサーチセンター) (委託等内容 : 利用希望把握に係る調査及び分析) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 6,977 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		委託料	6,977 千円	利用希望把握調査業務委託
財源内訳	R元年度 支出済額 6,977 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	6,977 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
行政費用 A			0	13,347
(1)現金を伴う支出 (千円)			0	11,837
事業費(支出済額-②報酬合計)				6,977
償還金利子				0
人件費合計(①+②+③)			0	4,860
①職員給与合計(常勤)				4,571
②報酬合計(非常勤)				0
③退職金相当額				289
(2)現金を伴わない支出 (千円)			0	1,510
①減価償却費				0
②退職給与引当金繰入額				1,510
③不納欠損額				0
④その他 ()				0
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)			0.00	429,317
			30.82	433,060

成果実績	指標名	目標			-	単位	-	単位
		実績			-	単位	-	単位
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		調査委託の事業であり、効果を数値で表すことが困難。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	特になし

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	調査により把握した実情やニーズを計画に反映させることにより，きめ細かな子育て支援事業の計画および実施に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	当該繰越分の事業費は，調査委託の終了をもって事業完了とする。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
2	計画策定に関すること	無	無	3	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	宮原 伸一	確認日	2020/8/24
----	---------	----	-------	-----	-----------